

2025年度

埼玉県U12秋季バスケットボールリーグ支部大会要項

- 1 趣 旨 埼玉県バスケットボール協会U12カテゴリー登録チームが所属している支部において、試合を通して親睦を深め合い、心身の育成及びバスケットボール技術の向上を図ると共に、競技の普及・発展・振興に努める。
参加チームはインテグリティの精神(誠実さ、真摯さ、高潔さ)に則り「クリーンバスケット」「クリーン・ザ・ゲーム」の取り組みに向けて暴言等は慎み、ゲームを尊重する精神(リスペクト・フォー・ザ・ゲーム)を持ち、試合に臨むこと。
- 2 主 催 一般社団法人 埼玉県バスケットボール協会
- 3 主 管 一般社団法人 埼玉県バスケットボール協会 U12カテゴリー部会
- 4 協 賛 各支部にて協賛企業を募集予定
- 5 期 日 2025年 7月26日(土) ～ 2025年10月13日(祝月)
- 6 会 場 U12カテゴリー部会各支部内小学校会場及び公共体育館
- 7 参加費 1チーム 4,000円
- 8 参加資格 ①2025年度において、公益財団法人日本バスケットボール協会(以下「JBA」という。)に登録されたチームであること。
登録期限:2025年 5月31日(土) ※「登録済」とはJBAに納付完了していること。
②2025年度において、公益財団法人日本バスケットボール協会に登録済のプレーヤーであること。
登録期限:2025年 7月20日(日) ※「登録済」とはJBAに納付完了していること。
※スコアシートの選手氏名欄は、大会エントリー15名を超える場合、選手氏名欄を全て記載すること。
大会エントリー15名未満の場合でも同様にして下さい。(8～9名ルール確認のため)
③競技者は、2025年 4月 2日時点で小学生であること。
④JBA公認E級コーチ以上の資格を保持していること(チーム1名以上)
※スコアシートのコーチ欄に、ヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチの氏名を必ず記載すること。
※ヘッドコーチは必ずベンチに居ること。
⑤JBA公認審判員(E級以上)を帯同すること。 ※新規資格取得から、1年以上の実技経験者が望ましい。
U12審判部会より、チーム帯同審判及び派遣審判の対応につきましては、通知があります。
⑥円滑にTOを行うために、チームで1名以上の「TO基礎講習(e-ラーニング)」の受講および受講内容のチーム内周知を推奨する。
また、TOサポーターとしてTO席後方に立つ大人は「TO基礎講習(e-ラーニング)」を受講していることが望ましい。
- 9 チーム構成 チーム編成は、ヘッドコーチ1名、1名以上3名以内のアシスタントコーチまたは関係者(JBAチームスタッフ登録者)
選手10名以上15名以内の合計19名以内とする。
ただし、JBA登録競技者が8名または9名のチームは、その人数による構成を可とする。
JBA登録競技者が10名以上のチームは、10名未満の人数で大会に参加することはできない。
JBA登録競技者数が大会エントリー数(15名)を超えるチームは、大会エントリー数の上限(15名)に満たない人数のプレーヤーで大会にエントリーすることはできない。
- 10 大会方式 予選はリーグ戦、順位決定戦はトーナメント戦とする。
※埼玉県バスケットボール協会U12カテゴリー部会各支部が定めるものとする。

- 11 申込開始 2025年 6月 1日(日)
- 申込締切 2025年 6月15日(日)
- 12 競技規則 2025 バasketボール競技規則 ミニBasketボールにおける適用規則の相違点に準じる。
- ①10名以上で大会エントリーしたチームが大会当日に10名未満しか試合に出場できない場合や、
8名または9名で大会エントリーしたチームが、大会当日に大会エントリー数に満たない人数しか試合に出場できない場合、
ゲーム不成立となり没収とする。(スコアは20-0)
- ②第20条 ゲームの没収 20-2-3 については、適用しない。
- ③4Q終了時同点の場合は、延長戦を以下の通りに行う。
- 延長戦は必要な回数を実施する。ただし、第2延長以降は2点先取した時点で終了とする。
- 以下、記載の通りに運用すること。
- (1) 第1延長は、3分間行う。終了時同点の時は、第2延長を行う。
- (2) 第2延長は、3分間行う。その時間内で、どちらかのチームが2点先取(2点差ではない)した時点で終了となる。
- (3) 第2延長が終了した時点で、得点差があれば、試合終了となる。(第2延長:1-0)
- (4) 第2延長が終了した時点で、同点の場合(第2延長:0-0又は1-1)は、第3延長となる。
- (5) 第3延長以降は、通算での2点先取となる。(第2延長:1-1の場合、1点先取で終了。)
- ④リーグ戦における順位決定方法
- (1) 予選・決勝(順位別)リーグとも延長戦を行う。
- (2) 勝ち点が同一のチームの順位決定戦方法は、次の順で決定する。
- ア)当該対象チームでの対戦成績が上位のチーム。
- イ)上記 ア)で順位が決定できない場合は、当該対象チームでの対戦におけるゴールアベレージ(総得点÷総失点)の大なるチームが上位。
- ウ)上記 イ)で順位が決定できない場合は、当該対象チームでの対戦における得失点差(総得点－総失点)の大なるチームが上位。
- エ)上記 ウ)で順位が決定できない場合は、チーム責任者による抽選で決定。
- (3) 各ゲームに勝ったチームに勝ち点2、各ゲームに負けたチームに勝ち点1、各ゲームの没収によって負けたチームに勝ち点0
- ⑤JBA参考資料 マンツーマンディフェンスの基準規則に則る。
- マンツーマンコミッショナーは1試合あたり1名または2名を配置する。
- ⑥ユニフォームは、「JBAユニフォーム規則」に準じるが、その一部を緩和する。
- U12競技部会より、「2025年度 埼玉県U12カテゴリー各大会ユニフォーム規定について」を通知。
- 各チームは淡色・濃色の各ユニフォームを用意し、淡濃同番号とする。
- 13 開会式 各支部大会初日、各会場にて行う。
- 14 閉会式 各支部大会最終日、表彰が行われる会場にて行う。
- 15 表彰 上位チームに賞状及びトロフィーまたは盾を授与する。
- 16 その他 ①大会要項は試合会場に必ず掲示し、各チーム指導者及び代表保護者が、その内容の確認をすること。
- ②ベンチで指揮を執るヘッドコーチ・ファーストアシスタントコーチは、試合中JBA公認コーチ登録証(カード及び出力版)を
首から下げていること。(会場内にいる指導者全て)
- ③大会当日、JBAコーチライセンス(カード及び出力版)・チームメンバー一覧表(PDF最新版・紙媒体)の確認を必須とする。

④本大会における手続きや競技会等において、規律違反がある場合は、U12カテゴリー部会にて速やかに対応する。

8.参加資格 ①②③④に違反が確認された場合は、その試合を没収試合とする。

⑤参加者の試合中の疾病及び傷害については、応急処置は施すが、主催者はその後の責任は負わない。

参加者は全員、各種スポーツ保険に加入していること。

⑥天候不良(台風及び降雪)等による、大会開催可否については、別途連絡とする。

⑦試合をするフロア内での応援について、叩き物を使う・足を踏み鳴らす・団扇を叩く等の行為は、一切禁止とする。

⑧試合時のメンバー登録は速やかに行い、試合進行を遅らせることのないようにすること。

⑨スコアシートに貼るメンバー表は、埼玉県U12カテゴリー部会ホームページ、お知らせ【TO】から、ダウンロードしてください。

⑩本大会における肖像権・映像権利は、全て一般社団法人埼玉県バスケットボール協会に帰属し、画像・映像を主催者の許可無く使用・公開することを禁ずる。

⑪大会要項に定めのない事項は、埼玉県バスケットボール協会U12カテゴリー部会にて協議し、決定する。

2025年度 埼玉県U12カテゴリー各大会ユニフォーム規定について

2025年度 埼玉県U12カテゴリー各大会ユニフォーム規定について、その運用の一部を変更します。

各大会における運用につきまして、下記に定める通りに変更しますので、

チームへの周知徹底をお願いします。

また、このルール適用につきましては、埼玉県U12カテゴリー各大会においてのみの適用となります。

○ユニフォームは、2025年4月1日時点の「JBAユニフォーム規則」に準じるが、その一部を緩和する。

・パンツは、シャツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの。

パンツの裾は膝より上でなければならない。

→U12カテゴリーでは、身体成長の著しい時期であるため、

「パンツの裾は膝より上でなければならない。」

上記記載箇所についてのみ、規則の適用は行いません。

・ソックスは全てのチームメンバーが同じ主となる色でデザインされたもの。

ソックスは見える状態でなければならない。

→ソックスは、なるべく同じ主となる色とし、見える状態でなくても差し支えない。

○その他、身につけるものは「JBAユニフォーム規則」に準じるが、その一部を緩和する。

リストバンド、ヘッドバンド、テーピングは全て同じ単色でなければならない。

→全て同じ単色でなくても、差し支えない。

01 第4条 チーム

変更のポイント

ユニフォームの規定についてTシャツの着用に関する一部文言が削除されています。

この変更により、ユニフォームの下にコンプレッションウェアを着用することの整合性を図る形となっていることがポイントです。

2024 バスケットボール競技規則（変更前）

4-3-1

全てのチームメンバーのユニフォームの規定は、次のとおりとする：

・シャツは、パンツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの。シャツに袖がある場合は肘より上まででなければならない。長袖は認められない。

全てのプレーヤーは、コート内ではシャツをパンツの中に入れなければならない。「オールインワン」は認められている。

【補足】国内大会では、女子についてはシャツをパンツの外に出すようにデザインされたものを使用してもよい。

・シャツの下にTシャツを着ることは、いかなるスタイルであっても認められない。

・パンツは、シャツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの。パンツの裾は膝より上まででなければならない。

・ソックスは、全てのチームメンバーが同じ主となる色でデザインされたもの。ソックスは見える状態でなければならない。

【補足】国内大会においては大会主催者の考えにより変更することができる。

2025 バスケットボール競技規則（変更後）

4-3-1

全てのチームメンバーのユニフォームの規定は、次のとおりとする：

・シャツは、パンツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの。シャツに袖がある場合は肘より上まででなければならない。長袖は認められない。全てのプレーヤーは、コート内ではシャツをパンツの中に入れなければならない。「オールインワン」は認められている。

【補足】国内大会では、女子についてはシャツをパンツの外に出すようにデザインされたものを使用してもよい。

~~・シャツの下にTシャツを着ることは、いかなるスタイルであっても認められない。~~

・パンツは、シャツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの。パンツの裾は膝より上まででなければならない。

・ソックスは、全てのチームメンバーが同じ主となる色でデザインされたもの。ソックスは見える状態でなければならない。

【補足】国内大会においては大会主催者の考えにより変更することができる。